

# 感謝の心がもたらす強い気のエネルギー

(035)

心配や不安、寂しさ、悲しさ、怒り、恨み、妬みといったマイナスの想いを強くもっていると、それだけで免疫機能はぐんと落ちる。それが量子なり中性子の波動の歪みを生じ、ウイルス感染にもなりやすい。病気は心配や不安など抱えている人は治りが悪く、自分自身で病気を作りだしている部分もあり、逆にいえば、自分で治せる部分も多い。

人間は怒ると脳内にノル・アドレナリンというホルモンが出てくる。これは神経伝達物質の一つだが、常に怒っていると血圧も上がり、老化も進み体調も悪化し、いずれ病気になる。そしてこれを中和してくれるベータ・エンドルフィンは若さを保ち、ガン細胞に拮抗し、気分を良くする働きがある。

それにはすべてを肯定的に捉え、いつもニコニコするよう心掛ける。起こったことはすべて自分にとって必要と受け止め、プラス思考する。加えて「お陰様で」と感謝することは、非常に強いプラスの波動を出し、病気まで治してしまう。

堀田忠弘病院長